

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2018年10月26日から2022年8月8日まで (当初、2023年10月17日まで)	
運用方針	<p>①上海・深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目指します。</p> <p>②UBPインベストメント・マネジメント（上海）リミテッドが独自に開発したA I（人工知能）モデルを活用した運用を行います。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	中国株 A I 運用ファンド	「U Access - Optimum China A Equity YC share class」および「SOMPOマネープールマザーファンド」
	U Access - Optimum China A Equity YC share class	上海・深セン証券取引所に上場されている中国A株および人民元建て債券（中国国債等）
	S O M P O マネープールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	中国株 A I 運用ファンド	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③デリバティブの直接利用は行いません。</p> <p>④株式への直接投資は行いません。</p>
	U Access - Optimum China A Equity YC share class	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②流動性に欠ける資産への投資は行いません。</p> <p>③純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>④為替ヘッジは行いません。</p>
	S O M P O マネープールマザーファンド	<p>①株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>②外貨建資産への投資は行いません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

繰上償還 運用報告書（全体版）

中国株 A I 運用ファンド

最終期（償還日 2022年8月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「中国株 A I 運用ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2022年8月8日をもちまして繰上償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。
今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日) 2018年10月26日	円 銭 10,000			円 —		% —		% —	百万円 198
1期(2019年10月18日)	10,792			100		8.9	—	95.0	801
2期(2020年10月19日)	13,282			100		24.0	—	95.3	401
3期(2021年10月18日)	15,298			100		15.9	—	95.4	274
(償還時)	(償還価額)								
4期(2022年8月8日)	13,932.28			—		△ 8.9	—	—	199

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率はU Access - Optimum China A Equity YC share classの組入比率。

(注5) 当ファンドは、U Access - Optimum China A Equity YC share classの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 率
		騰 落	率				
(期首)	円 銭		%		%		%
2021年10月18日	15,298		—		—		95.4
10月末	15,201		△ 0.6		—		95.6
11月末	14,841		△ 3.0		—		95.2
12月末	14,755		△ 3.5		—		95.4
2022年1月末	14,021		△ 8.3		—		89.0
2月末	14,039		△ 8.2		—		94.6
3月末	13,747		△10.1		—		94.7
4月末	13,016		△14.9		—		94.6
5月末	12,990		△15.1		—		94.1
6月末	14,758		△ 3.5		—		95.0
7月末	14,176		△ 7.3		—		95.6
(償還時)	(償還価額)						
2022年8月8日	13,932.28		△ 8.9		—		—

(注1) 騰落率は期首比。

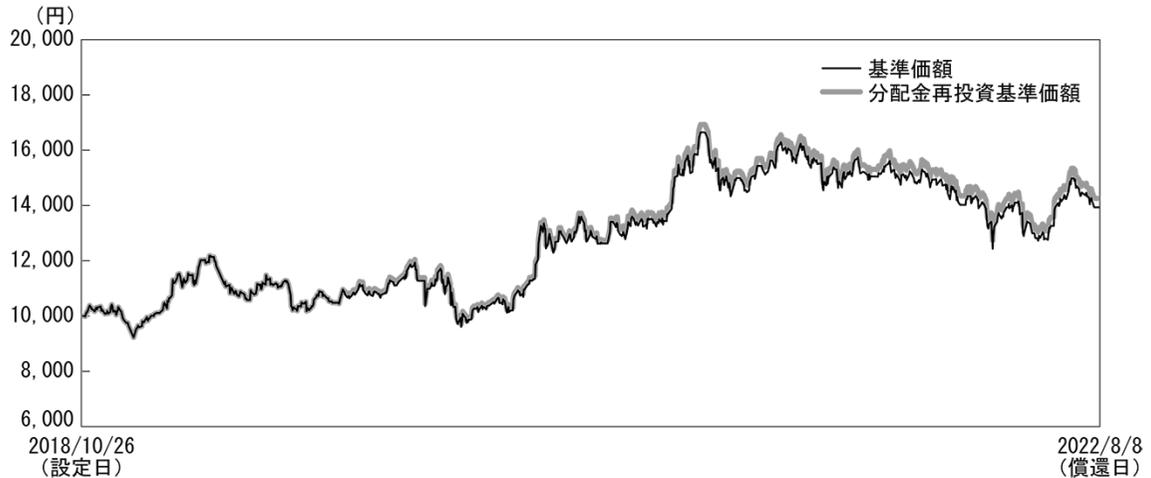
(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率はU Access - Optimum China A Equity YC share classの組入比率。

(注4) 当ファンドは、U Access - Optimum China A Equity YC share classの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2018年10月26日（設定日）～2022年8月8日（償還日））

■基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：13,932円28銭（期中分配金合計300円）

騰落率：42.6%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、U Access - Optimum China A Equity YC share classの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「U Access - Optimum China A Equity YC share class」が上昇したことから、分配金再投資基準価額も上昇しました。

「U Access - Optimum China A Equity YC share class」においては、株式ポートフォリオ、為替ともプラスに寄与しました。

■投資環境

○中国株式市場

中国株式市場は、上昇しました。

設定時から2018年の年末にかけては、世界的な景気への懸念などから下落する局面がありましたが、2019年3月にかけて、米中関係改善と中国政府による景気刺激策への期待を背景に上昇が続ききました。その後、米中関係の悪化懸念から一旦反落したものの、2019年の年末にかけては、レンジでの推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの発生源とされる湖北省武漢市で封鎖措置が取られたことや、世界的な感染拡大への懸念から、下落しました。4月以降は、景気刺激策や経済活動再開への期待などから上昇しました。2021年は、米国の長期金利上昇などで下落する局面はありましたが、年末にかけては、堅調な経済指標に支えられて上昇しました。2022年4月中旬にかけては、FRB（米連邦準備理事会）による金融引き締めへの警戒感や、ロシアのウクライナ侵攻などにより大幅に下落しました。4月下旬以降は、政府による景気安定化策への期待、行動制限の緩和や好調な企業決算などを好感し、下落幅を取り戻しましたが、7月に政府が一部地域での都市封鎖を再び発表した事などが嫌気され下落しました。

○為替市場

為替市場においては、円に対して、人民元は大きく上昇しました。

主要株式指数の推移



為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

「U Access - Optimum China A Equity YC share class」への投資比率を、運用期間を通じて高位に保ちました。その後、「U Access - Optimum China A Equity YC share class」の償還が決定したことを受けて、当ファンドも2022年8月8日に繰上償還しました。

(U Access - Optimum China A Equity YC share class)

当ファンドは、UBPインベストメント・マネジメント(上海)リミテッドが独自に開発したAI(人工知能)モデルを活用した運用により、上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資を行いました。株式全体のエクスポージャーについては、運用期間を通じて概ね高水準の株式組入比率を維持しました。2022年7月末の繰上償還による解約に対応するため、保有株式を全売却しキャッシュ化しました。

(SOMPOマネープールマザーファンド)

短期金融市場において、国債の利回りがマイナスであるため、比較的マイナス幅が小さいコール・ローン運用を中心に行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、U Access - Optimum China A Equity YC share classの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

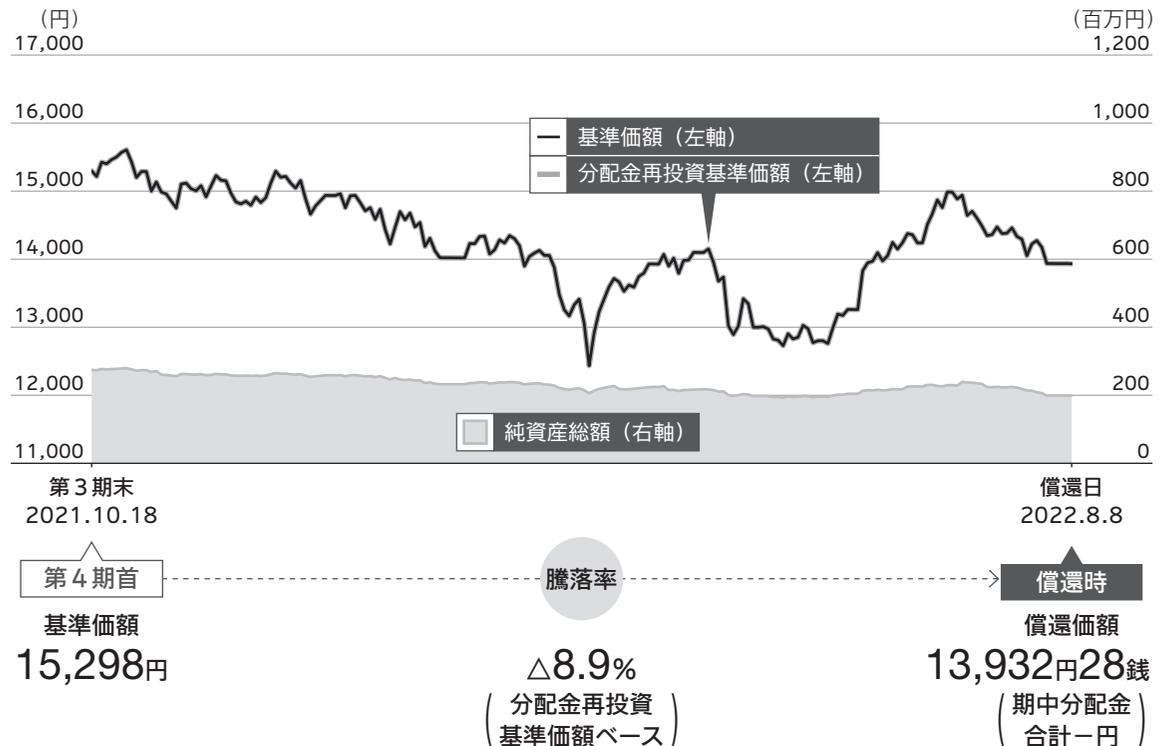
■分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、第1期～第3期において各100円(1万口当たり)、合計300円の分配を行いました。

最終期の運用経過（2021年10月19日～2022年8月8日（償還日））

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年10月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、U Access - Optimum China A Equity YC share classの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

中国株 AI運用ファンド

主要投資対象である「U Access – Optimum China A Equity YC share class」が下落したことから、当期の基準価額も下落しました。

「U Access – Optimum China A Equity YC share class」においては、為替はプラスに寄与しましたが、株式ポートフォリオはマイナスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンド及びマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド  マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

○中国株式市場

中国株式市場は、下落しました。

期初から2021年の年末にかけては、米中関係の悪化懸念から下落する局面がありましたが、堅調な経済指標に支えられてレンジ内で推移しました。2022年1月以降は、FRB（米連邦準備理事会）による金融引き締めへの警戒感や、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルス対策による中国国内の一部地域での都市封鎖や、行動制限に伴う物流の混乱の影響などから大幅に下落しました。4月下旬以降は、政府による景気安定化策への期待、行動制限の緩和や好調な企業決算などを好感して上昇しましたが、中国政府が一部地域での都市封鎖を再び発表した事などが嫌気され下落しました。

○為替市場

為替市場においては、円に対して、人民元は大きく上昇しました。

主要株式指数の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

「U Access – Optimum China A Equity YC share class」への投資比率を、期を通じて高位に保ちました。その後、「U Access – Optimum China A Equity YC share class」の償還が決定したことを受けて、当ファンドも2022年8月8日に繰上償還しました。

U Access – Optimum China A Equity YC share class

当ファンドは、UBPインベストメント・マネジメント（上海）リミテッドが独自に開発したAI（人工知能）モデルを活用した運用により、上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資を行いました。株式全体のエクスポージャーについては、期を通じて概ね高水準の株式組入比率を維持しました。2022年7月末の繰上償還による解約に対応するため、保有株式を全売却しキャッシュ化しました。

SOMPOマネープールマザーファンド

短期金融市場において、国債の利回りがマイナスであるため、比較的マイナス幅が小さいコール・ローン運用を中心に行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、U Access – Optimum China A Equity YC share classの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

該当事項はありません。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2022年8月8日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

● 1万口当たりの費用明細

項目	最終期 2021.10.19~2022.8.8		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	123円	0.868%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は14,154円です。
(投信会社)	(38)	(0.266)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(82)	(0.576)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(1)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	125	0.882	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

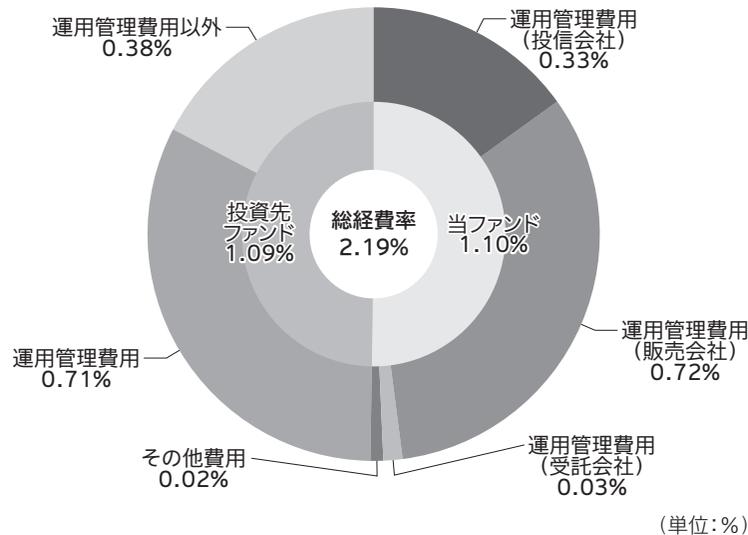
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



総経費率(①+②+③)	2.19
①当ファンドの費用の比率	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.38

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月19日～2022年8月8日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	U Access - Optimum China A Equity YC share class	2,862	44,750千円	18,519	285,357千円

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	SOMPOマネーブルマザーファンド	521千口	520千円	3,245千口	3,234千円

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月19日～2022年8月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年10月19日～2022年8月8日)

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取引理由
万円 1,000	万円 -	万円 -	万円 1,000	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2022年8月8日現在)

2022年8月8日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
U Access - Optimum China A Equity YC share class			口
			15,656
合	計		15,656

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
SOMPOマネープールマザーファンド			千口
			2,723

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年8月8日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他		千円	%
		199,794	100.0
投資信託財産総額		199,794	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2022年8月8日現在)

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	199,794,492	
コール・ローン等	199,794,492	
(B) 負債	707,210	
未払信託報酬	705,724	
未払利息	596	
その他未払費用	890	
(C) 純資産総額(A-B)	199,087,282	
元本	142,896,445	
償還差益金	56,190,837	
(D) 受益権総口数	142,896,445口	
1万口当たり償還価額(C/D)	13,932円28銭	

(注1) 信託財産に係る期首元本額179,323,479円、期中追加設定元本額30,898,031円、期中一部解約元本額67,325,065円

(注2) 償還時における1口当たりの純資産総額 1.393228円

○損益の状況 (2021年10月19日～2022年8月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 10,097	
支払利息	△ 10,097	
(B) 有価証券売買損益	△15,132,214	
売買益	4,433,596	
売買損	△19,565,810	
(C) 信託報酬等	△ 2,057,274	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△17,199,585	
(E) 前期繰越損益金	36,438,180	
(F) 追加信託差損益金	36,952,242	
(配当等相当額)	(14,900,936)	
(売買損益相当額)	(22,051,306)	
償還差益金(D+E+F)	56,190,837	

(注1) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年10月26日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年8月8日			資産総額	199,794,492円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	707,210円	
受益権口数	198,728,487口	142,896,445口	△55,832,042口	純資産総額	199,087,282円	
元本額	198,728,487円	142,896,445円	△55,832,042円	受益権口数	142,896,445口	
1万口当たり償還金 13,932円28銭						
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第1期	742,362,179円	801,165,292円	10,792円	100円	1%	
第2期	302,663,450	401,993,637	13,282	100	1	
第3期	179,323,479	274,327,571	15,298	100	1	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	13,932円28銭
----------------	------------